

校内別室におけるデジタル教科書を活用した学習支援について 【江戸川区立中学校の取組】

不登校児童・生徒の状況

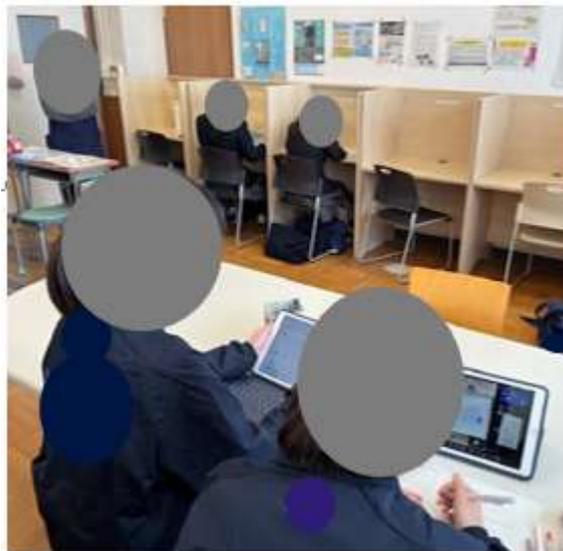
本区は中学校における不登校の出現率が7.7%を超えており、不登校生徒数は1100名を超えている。区立中学校全校にエンカレッジルームを整備し、不登校生徒が別室登校した際に、居場所や学習場所が確保できるようにしている。別室を利用する生徒は様々だが、コミュニケーションに課題をもっていたり、学習に自信がなかったりする生徒が多く見られる。

具体的な支援

今年度、中学校19校に校内別室指導支援員を配置し、校内別室を利用する生徒に小学校3年から中学校3年までの、教材付きデジタル教科書を配布した。校内別室を利用する生徒を中心に73名が活用した。

校内別室において生徒がリモート授業を受ける際に、デジタル教科書に掲載されている動画資料を参照したり、基礎問題等を活用したりすることができた。

また、校内別室にて児童・生徒が自習をする際に、別室指導支援員がサポートして一緒にデジタル教科書を開いたり、動画資料を参照したりすることで、デジタル教科書の使用を促すとともに生徒の学びの幅を広げることができた。



成果

教材付きデジタル教科書を配布するとともに、下学年の教科書も対応したことによって、デジタル教科書の良さを感じさせることができた。また、教員や別室指導支援員がデモンストレーション等を行ったり、サポートしたりすることによって、一人一人の状態に応じた学習を支援することができた。

課題

デジタル教科書を配布しただけでは活用が進まないため、教員や別室指導支援員の支援が必要である。

「学校サポート教室」におけるデジタル教科書を活用した学習支援について 【江戸川区教育支援センターの取組】

不登校児童・生徒の状況

本区には6箇所の教育支援センター「学校サポート教室」があり、令和6年3月現在、小学生54名、中学生180名が在籍している。児童・生徒は一人一人のタイミングで登室し、職員を交えてにぎやかに雑談をする児童・生徒もいれば、一人の時間を大切にして自習する児童・生徒もいて、各自が自分で過ごし方を選択している。

具体的な支援

教育支援センター6ヶ所に在籍する児童・生徒に小学校3年から中学校3年までの、教材付きデジタル教科書を配布した。在籍の児童・生徒87名（小10名、中77名）が活用した。

簡単にデジタル教科書にアクセスできるように手順を説明したプリントを作成・配布するとともに、教育支援センター職員がデモンストレーション等をして、通室児童・生徒の使用を促した。

また、教育支援センター職員が授業を行う際に、教科書を準備できていない児童・生徒に対しても、スムーズに授業を行うことができた。自習のサポートにおいても、デジタル教科書の使用を促し、学びの選択肢を広げることができた。



成果

児童・生徒が簡単にアクセスできるようにプリントを作成・配布・掲示することによって、誰もが簡単にデジタル教科書を活用することができ、使用頻度の向上につながった。

課題

様々なデジタル学習教材がある中、児童・生徒がデジタル教科書を進んで使用する動機づけが十分ではない。